

〔国際会議〕

申 請 者	東京大学大学院 工学系研究科 准教授 出町 和之	2025007
研 究 集 会 名	1 st International Conference on Maintenance Science and Technology for Nuclear Power Plants (ICMST Tokyo 2012)	
開 催 期 間	平成 24 年 11 月 11 日から 11 月 14 日	
開 催 場 所	東京大学弥生講堂	
申請者の役割	運営委員長	

概 要：

本会議は、原子力発電所の保全（機器の検査や補修、交換）に着目した、世界最初の国際会議である。既設の原子力発電所の運転時の安全性を維持するために、保全活動が重要なことは論を待たない。一方で、現実の保全活動では、従業員の被曝量低減や、稼働率向上による経済効果も考慮される。つまり、科学的な根拠に基づく効率的な保全活動を希求する必要がある。

本会議は、こうした現状に鑑み創設され、第一回の開催を迎える。開催の学術的意義は、以下の三点である。

- 1) 機械、電機、計測、制御、材料等の幅広い学術分野から、保全活動の向上に資する研究開発成果を持ち寄り、最新の知見を共有すること。
- 2) 従来は事業所毎に蓄積されてきた経験知を収集して、分析し、保全に関する推奨事例を共有すること。
- 3) アカデミアという自由な議論の場を活用して、運転プラントの安全性向上に資する忌憚のない意見交換を促進すること。

第一回目の開催にも関わらず、当初の予想を大きく上回る 180 名を超える多くの参加者があり、国内外の研究者・技術者が深くディスカッションを行うことが出来た。今回の成功を受け、ICMST は約 1 年半ごとに国内外で交代で開催されることが組織委員会決定した。